

USD / JPY (7/30) 総論もみあい、7月始値114.35円を維持できるか



コメント

先週の値動き＝水曜日以降、円高に。300pt近く値を下げた。

今週の指標＝米指標がずらりと並ぶ。金曜日には、米雇用統計。材料には事欠かない。

テクニカル＝月末のため、月足を分析。**トレンドライン**を引いて分かるとおおり、ドル円は動いていないというのが事実。

日足、週足レベルではドル高だ、円高だと報道されているものの、長期的に見れば、方向感がない状況が続いている。

7月114.35円以上で引ければ、06年に入り始めての2ヶ月続けての陽線。114.35円以下であれば、「陰線>陰線>陽線」のサイクルのため、8月も陰線か。。

テクニカル・レート

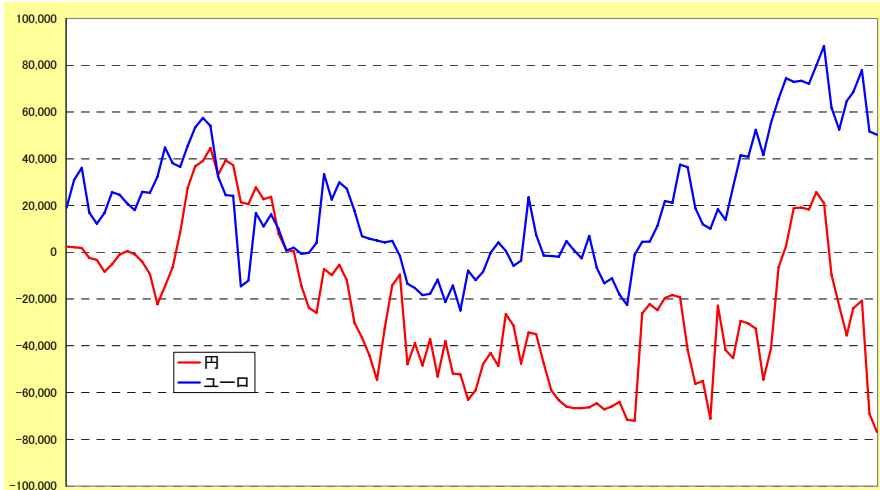
12ヶ月移動平均＝115.35円

7月始値＝114.35円
7月高値＝117.86円
7月安値＝113.44円
先週終値＝114.63円

【投資のポイント】

スワップ長期派の方にとっては、念のため、12ヶ月移動平均線115.35円を上抜ければ、8月も引き続き保有継続の根拠となる。

昨年末よりも円売りに偏る、週末にかけEUR/USDに方向感出るか

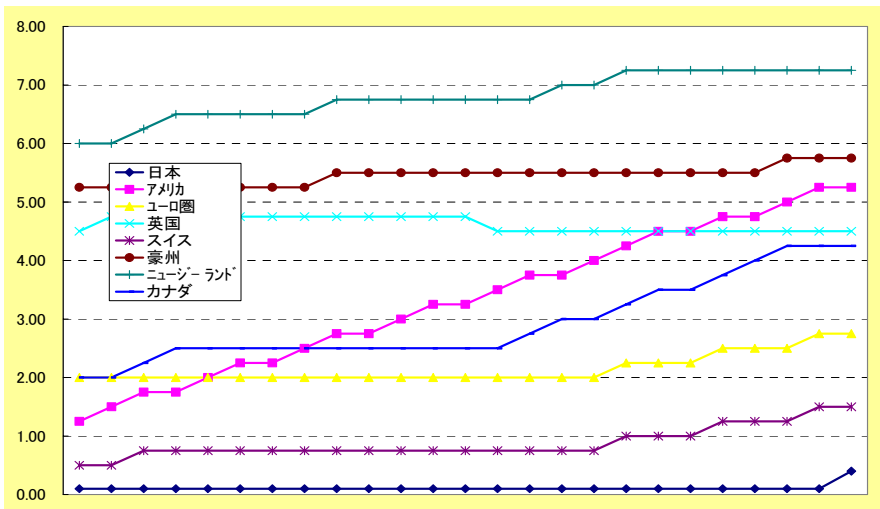


IMM投機筋ポジション動向

7月25日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲7.7万枚。先週より約0.8万枚拡大した。25日の終値は117.11円。直近7月28日の終値は114.63円。縮小か。

一方、ユーロの買い越しは先週より約0.1万枚縮小し、約5.0万枚。25日が1.2578ドル。28日が1.2757ドル。拡大か。

円の▲7.7万枚水準は2004年7月以降、最高水準。昨年末の120円を超えたときよりも、円売りに傾いていた。その影響もあり、週末にかけ円高に。300pt近く値を下げた。



各国金利動向

先週はNZ・RBNZ政策金利が発表された。予想とおり据え置きに。NZドル円は、主要通貨の影響を受け、週末にかけて下落している。

今週は、2日に豪RBA。3日に、英BOE、欧ECB政策金利が発表される。RBA、ECBは+25bpの利上げ観測。

今週は、3日木曜日にトリシェECB総裁の発言、金曜日に米雇用統計。週末にかけ、荒れそうな展開だ。ユーロドルはすっかりもみあいが続いているものの、方向感がでるか。